

第3回説明会でお寄せいただいた質問と回答をまとめました！補足もあります。

	質問	回答
1	前職で獲得している外部資金に関わる研究は採用後も続けることができるのか？	基本的に産総研入所後も外部資金は使用可能。ただし、入所後は領域のミッション研究が優先される。領域のミッションに沿った研究であれば進めて良い。
2	採用後にグラントに応募する際、領域のミッションに沿わない研究に関するグラントへの応募は可能か？	グラント応募時には上長の承認が必要になる。事前に相談して調整することが必要になる。
3	出向はオンライン参加を活用して研究業務と並行して行うことは可能か？内部出向もあるのか？	外部出向（AMEDなど）は出向先組織での方針に沿って行うので進め方はケースバイケースになる。多忙になるので研究を行うのは難しいかもしれない。内部出向（領域企画室など）の場合は、研究グループと兼務になるので、web会議も併用して研究を行なっている者もいる。
4	出向の時期はどのように決まるのか？論文投稿のリビジョンの途中で出向もあるのか？	事前に相談したり、希望もある程度聞かれるが、基本的には領域や部門のマネジメント方針で出向時期は決まる。
5	採用後、採用前の研究室との連携は可能でしょうか？また短期間、採用前に在籍していた研究室へ出張などは可能でしょうか？	北大から就職した自分は、指導している学生がいた状態で異動した。普段はメールやwebで議論しながら進めているが、必要に応じて札幌に行って指導したこともある。全体の中でのバランスを取ることが重要で、上長に相談しながらミッションに沿った形で進めていた。
6	拠点移動の頻度、年数と、勤務地の希望はどれくらい考慮されるのか教えてください	拠点間移動の頻度は多くはない。研究内容によって配属場所が決まるので、必ずしも最初から希望が通ることはない。入所後に異動希望を出したが、研究内容に沿っているか、ミッションに沿っているかが考慮されて配属先が決まることもある。会社のように急に異動となることは基本的にはない。

	質問	回答
7	研究内容の切り替えを4名ともなされているかと思いますが、応募の際には、研究の切り替えという点についてどのように考えて応募を決意なされたのでしょうか？	研究者のバックグラウンドやスキルを考慮して、産総研のミッションに沿うかを考慮して配属先が決まる。実際に配属予定先と議論をしたプロセスがある。これまでの自分の研究を継続するか産総研のミッションを行うかの調整をして、その中で拠点やグループ配属が決まっていく。研究を切り替えたいということで応募することもあるが、希望したグループに入れるわけではなくミッションや個人のバックグラウンドが考慮される。
8	研究員で採用された後、主任研究員やGLになるためのキャリアアップはどのように進んでいくのか？審査などはあるのか？	まずは研究者として採用され、研究することになるが、あるタイミングでステージゲートがあり、その先のキャリアパスを考える機会がある。そこで、マネージメントに行くことや、知財や企業連携などに関わる部署へ異動するなどいくつかのキャリアパスがある。自分の希望もあるし、領域幹部や上長などと相談して総合的に今後のキャリアパスを決めていく。
9	今年度の公募はどれくらい応募があって、どれくらい採用されたのか？	採用プロセスは書類選考から面接まであり、大体1/7から1/8の応募者が面接まで行ける。領域の面接審査が一番難しい。応募者それぞれのステージに合わせた評価基準となる。
10	企業との共同研究が多いとの事ですが、企業の規模（資本金、従業員）を教えてください。	中小企業からいわゆる大企業（大変知名度の高い）まで幅広く共同研究している。企業に合わせたスケールの共同研究をしている。
11	勤務地を限定した応募は可能でしょうか？	地域重点枠があって、四国ではヘルスケアに関する採用枠がある。北海道ではバイオモノづくりに関わる採用枠がある。領域HPの資料を参照してください。

	質問	回答
12	プロジェクトを進めるときの進め方について質問。グループで行う場合、グループ員それぞれの技術などを集めて行うことにあるが、情報共有の頻度やその方法の具体的なイメージは？周りの人の進行具合によっては自分が暇になることもあるかと思うが、プロジェクトを掛け持ちできるのか？	一人の研究員が複数のプロジェクトを掛け持つのが普通であり、様々なテーマをエフォート管理しながら並行して進めている。同じグループで行う場合は情報共有に特に問題はない。他領域との共同研究（融合ラボ）では、拠点も領域も違う研究者とやっていくことになる。頻繁に顔を合わせることはないが、情報共有は頻繁に行うようにしている。
13	周囲に、産総研からアカデミアのポストに移動される方はいますか。いましたら、ポジションとどのような理由で移動されるか聞いたことがあればそちらも教えてください	いることはいる。年間でおおよそ2-3名は離職するがほとんどが教授クラスでの転職。個人の事情による。大学では学生が毎年入ってくるので指導するのは大変だが、マンパワーがある。大学だと講座制をとることが多い。産総研はGLはいるが全てのプロジェクトに関わるということではない。柔軟に様々なプロジェクトに関わることもある。個人での研究を目指したい人はアカデミックポストの方が向いていると思う。
14	別領域とまたがった研究内容、あるいはプロジェクトを行う機会はありますか？	融合ラボなどもあり、領域融合研究で様々なメンバーで研究を行うこともある。領域を跨ぐ所内グラントも多数あり、複数の研究者で立案し、連携研究を推進する。民間企業研究も最近では領域をまたがる大型なものが多く、多様な研究者との連携ができる。